

第十号様式（待受施設、除石計画がある施設の場合）

維持管理計画書

年 月 日

東京都知事 殿

申請者

住 所

氏 名

（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）

次の対策施設については、下記の通り維持管理します。

記

対策施設の所在場所	
対策施設の構造、延長	

1 維持管理の方針

(1) 標識の設置

特定開発行為許可標識の設置等について記述。

（例：特定開発行為許可標識を見易い場所に設置し、土砂災害防止施設であることを都民に周知する。）

(2) 施設の点検

点検の目的、内容等について記述。

（例：対策施設の適切な機能と安全性を保持するため、定期及び臨時（豪雨時・地震時）の巡視・点検を行い、施設の状態を把握し、豪雨時や地震時などに対策施設の機能が発揮されるように適正な維持管理を行う。）

2 維持管理の方法

(1) 定期点検

点検の目的、時期等の具体的内容について記述。

（例：梅雨期前等に年1回以上の定期点検を実施し、ポケット容量の確認・斜面及び施設の変状等を点検する。）

(2) 臨時点検

点検の目的、時期等の具体的内容について記述。

（例：豪雨時や地震時の直後には、対策施設の点検と併せて周辺自然斜面の点検を実施する。特に、待受施設の施行区域で崩壊抑止対策を実施していない場所では、自然斜面の変状、斜面からの湧水などの点検を実施する。）

(3) 補修等

補修等の具体的内容について記述。

（例：点検により確認された対策施設や斜面変状等に対しては、必要により応急措置を行うとともに、その現象が進行性のものか否か、影響範囲を調査のうえで施設の補修、補強、改良及び新設等を行う。特に、待受施設のポケット容量は、常に必要容量を確保する。）